



Idea

- 1 南側の窓は大開口とする一方で、西側の窓には開口部がなく、西日や騒音を軽減。
- 2 リビングに隣接するテラス、浴室・サンルームに隣接するテラスなど、部屋とつながる遊びの空間を設けた。
- 3 リビング中心の開放的なワンフロアの住まい。ちなみに、納戸を通して玄関へ行き来でき、来客時に重宝。



③交差点に面するY部外観。こちら南側の面はほとんど開口部となっているが、西側、つまり左から見ると窓は全くない。雑な西日や騒音を軽減する作用がある。



④吹き抜けに面した、ロフトのある子供部屋。間仕切りを撤せば3部屋に分けることも可能だ。



⑤ガラスブロックを採用した明るい玄関。光を取り込むことができるが、インテリアは外から丸見えにならない。



②2階トイレには机が収納されており、読書など有意義な時間を過ごすことができる。



⑦テラスを歩いて外に出ることで、ご主人の趣味室に行くことができる、楽しいつくり。ガラスの屋根のおかげで雨に濡れることもない。

data

- 敷地面積 ● 139.12㎡ (42.00坪)
- 用途地域 ● 第2種住居地域
- 建ぺい率 ● 57% (60%上限)
- 容積率 ● 100% (200%上限)
- 床面積 ● 139.72㎡ (42.18坪)
- 1F面積 ● 79.96㎡ (24.14坪)
- 2F面積 ● 59.76㎡ (18.04坪)
- 構造 ● 木造在来軸組工法
- 竣工 ● 2004年11月
- 家族構成 ● 夫+妻+子3人
- 設計 ● BGM建築設計
Tel.076-248-2040
http://www2.ocn.ne.jp/~vava/
- 施工 ● (株)北村工務店



①大きな開口部から光がゆ々と降り注ぐワンフロアのリビング。中から外の様子を見ることはできるのに、タテ型ブラインドや180センチ高の棚の作用で、外から中の様子はほとんど分からない。窓の外はテラスになっており、夏場には人目も気にせず夕涼みができる。

三角形という条件がスパイスに。 騒音や西日の問題を解決する家

野々市町_Y邸

交 差点の一角に位置し、三角形という特異な形状の敷地において、敷地のおもしろさを逆に間取りに活かした住宅がY邸です。敷地に合わせて間取りも三角形にするのではなく、階段状にすることによって、空いたスペースに「デッキや小さな庭園を配置。さらに、南側は大開口としながら、西側の壁面は開口部を極力小さくすることで、南からの光はふんだんに取り入れながら、西からの光をシャットアウト、

騒音も軽減することができました。採光や通風を保ちながら道路からの視線は遮る、180センチという堀の設定や格子のあしらいなど、敷地の条件に負けない工夫の数々は細部に渡ります。加えて、テラスに臨む明るい浴室や、離れのように使える趣味のための予備室など、遊び心もふんだんに採用しました。大空間のワンフロアのリビングには、光と風だけではなく、家族の笑い声もあふれる、楽しさ詰まった住まいです。



②ワンフロアのリビングを中心とした設計で、家族の息づかいがどこにいても伝わる。この部屋の床暖房で住まい全体が暖かくなり、どこにいても快適だ。



③吹き抜けを見下ろす2階ホール。大きな窓の足下に設置されたキヤットウォークは、光を軽減する作用のほか、メンテナンスにも役立っている。壁面にふんだんに設けられた収納にも注目したい。

case. **3**
交差点に面する
三角形の敷地